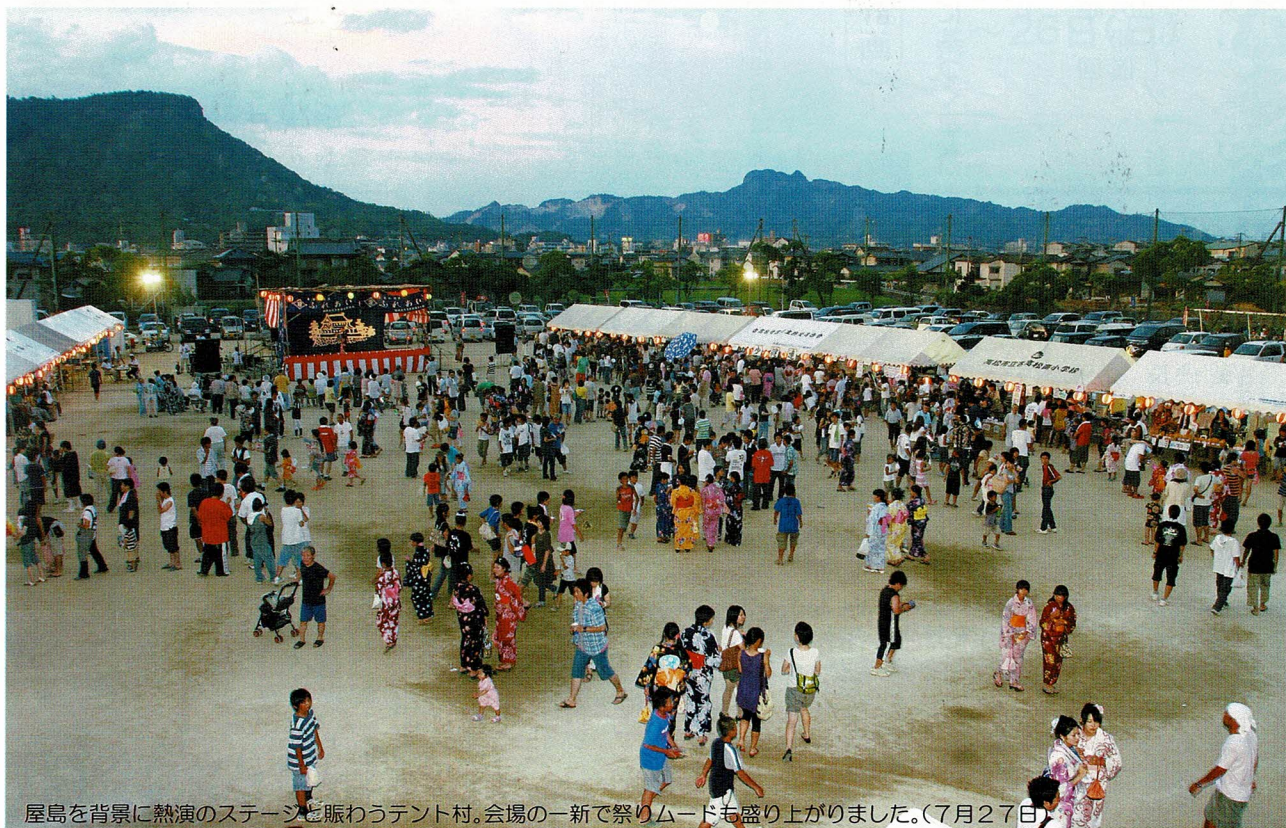


古高松コミュニティ協議会 広報誌

文化祭ガイド
(6～7面)



屋島を背景に熱演のステージと賑わうテント村。会場の一新で祭りムードも盛り上がりました。(7月27日)

みんなで作るまちづくりは、そこに住む人達の交流や、行事への参加は、もつとも大切な事と考えます。

まず、飛躍の二十年度へむけての中から、「安心のまちづくり」では、文化・生涯学習部会が、全地域から子ども達を見守る組織として、百七十余名の「歩き人」が六月二十八日の総会を経て、子ども達に同行して集団下校を行ないました。この事は全自治会のご協力のたまものです。

また、環境・安全部会が、新たな活動として、県民総ぐるみ運動「街頭キャンペーン」を地区交通安全推進協議会、交通安全母の会と共に、四月にはコーラー西側、七月には宮の原交差点で、安全運転とマナー・ルールの遵守を呼びかけました。

次に、「元気で健やかに暮す環境づくり」として、古高松地区ふれあい「ウォークルートマップ」を作成し、各ポイント地点に設置して健康・体力づくりコースを開設し、皆さんの利用を図っています。なお、東部運動公園のトリム広場、アスレチック利用も可能です。

前半の主要事業、各団体、地域の皆さんの協働のもとにできましたふれあい事業「旧（ふる）高松城」まつりは、星空が輝き始めた夕ぐれから、さらにたくさんの方々が参加をされ、かつてない賑わいとなりましたが、最後の花火打ち上げが叶わず、期待されていました皆様には、大変申し訳なく心からお詫びを申し上げます。最後に後半の事業では文化祭の開催、防災活動の主要課題「要援護者対策」の検討等、「安全なまちづくり」を目指します。



古高松コミュニティ協議会

会長 加藤 直之



『安全安心なまちづくり』事業推進

―平成二十年度定期総会開く―

古高松地区コミュニティ協議会の平成二十年度定期総会が、五月十七日午後、古高松コミュニティセンター大ホールで開かれ、「安全安心なまちづくり」を目指す新年度の事業計画などを決めました。

総会には、各構成団体の代表者はじめ来賓らが出席。はじめに全員で「高松市民のねがい」を朗読、加藤直之会長を議長に各上程議案を審議しました。その結果、①平成十九年度事業報告・決算報告②監査報告③平成二十年度事業計画案・予算案④会則の一部改正などについての各議案を、それぞれ満場一致で原案通り承認、役員改選を行いました。

平成二十年度事業計画、新役員は次の通り。

平成二十年度事業計画

一、コミュニティプランに基づく事業の推進

①明日へのまちづくり

(企画・広報部会)

- ・広報誌の発行(年二回)
- ・リーダー研修会の開催
- (婦人防火クラブリーダーを対象)

②健やかに育つふれあいのまちづくり(文化・生涯学習部会)

平成二十年度役員

古高松地区コミュニティ協議会

会長	加藤 直之	昭基
副会長	佐々木 ナミエ	加藤 基一
	村井 浩治	上枝 豊
	内海 重雄	川田 繁治
理事	加藤 豊	西尾 崇広
	辻 文栄	香松 文雄
	長町 隆司	中條 旦人
	楠井 広志	坂下 周
監事	藤本 豊	青木 智子
事務局	氏部 幸男	
	伊井 智子	

古高松地区コミュニティセンター 管理運営委員会

委員長	加藤 直之	昭基
副委員長	内海 重雄	加藤 基一
委員	佐々木 ナミエ	上枝 豊
	村井 浩治	加藤 文雄
	高松 武	中條 文雄
	樽谷 和夫	
	長町 隆司	

古高松地区コミュニティセンター 職員選考委員会

委員長	加藤 直之	昭基
委員	内海 重雄	佐々木 ナミエ
	村井 浩治	上枝 基一

- ・自治会から選出され増員した「歩き人」により、両小学校から各地域までの間で、子ども達を見守る活動を強化する。
- ③支え合う安心なまちづくり(健康・福祉部会)
 - ・身近な地域の高齢者の方々が気軽に集まり、今一度地域の連帯を深めるために「ふれあいサロン古高松」の振興と定着化を図る。
- ④清潔で安全なまちづくり(環境・安全部会)
 - ・河川一斉清掃など地域内の環境の保全に努める。

二、部会の定例化(全部会)

コミュニティ協議会の活動を推進するために、各部会に所属する各団体の力を集めて活かす方策として、毎月一回程度部会を定期的に開催し、各団体の連携・協働により、より広範囲で効果的な課題解決を目指します。

地域団体がうまく連携・協働することで、効率的な役割分担、地域の一体性の確保及び地域活動の相乗効果など、地域に新しい価値を生み出し、自分たちが行う活動

- ・安全で安心な交通環境の実現のために、キャンペーンを実施するとともに地区内の交通安全施設の点検を実施する。
- ・災害発生時の要援護者対策の取り組みなどを進める。
- ・婦人による家庭防火の啓発に努める。

をさらに向上させる基盤が作られます。

古高松分団

第二部屯所が完成

古高松コミュニティセンター南隣に新築していた高松市消防団古高松分団第一部屯所が完成し、六月七日、関係者が出席して落成式が行われました。

新屯所は、鉄筋コンクリートづくり平屋建て約八十二平方メートル、待機室、ホース干し台などがあり、地域の消防防災の基地として活用されます。



完成した第一部屯所

トピックス

活動報告から

「歩き人」増員、

活動を拡大強化

古高松地区青少年健全育成連絡協議会を中心に活動している「歩き人」が、本年度から増員、強化されました。連合自治会などの協力を得て増員を呼びかけた結果、新たに七十六人が参加して、百七十余人となりました。登下校時や放課後、黄色の腕章をつけて子ども達の安全を見守っています。特に古高松、古高松南両小学校の集団下校時には、七月十日を初回に年度内に六回実施する予定です。



「歩き人」らと一緒に帰途につく子ども達

「ハールとマナーみんなですすめよう」街頭大キャンペーン

七月七日、コミュニティ協議会環境安全部会による交通安全キャンペーンが、春日町の宮の原交差点で行われました。

県民総ぐるみ運動の一環で、午前七時から総勢七十二人が参加し、安全運転を呼びかけました。四月十日にも「四国八八交通死亡事故抑止キャンペーン」を春日町の県道交差点で実施しました。

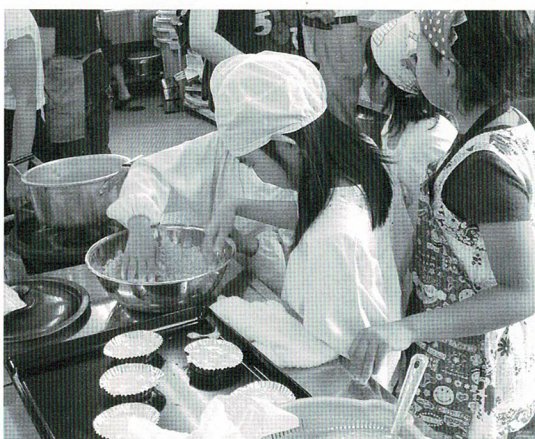


のぼり、プラカードで安全運転を訴える参加者

親子で食の大切を学ぶ

六月二十九日、古高松コミュニティセンターで古高松校区育成会行事の「食育講座・成長期のからだを作る栄養た

つぶりのお菓子を作ろう」が行われました。人気の行事で参加者も多く午前、午後の二回に分かれて、「バナナ蒸しパン」、「豆乳プリン」、「きな粉あめ」の調理にチャレンジしました。



お菓子作りに励む子ども達

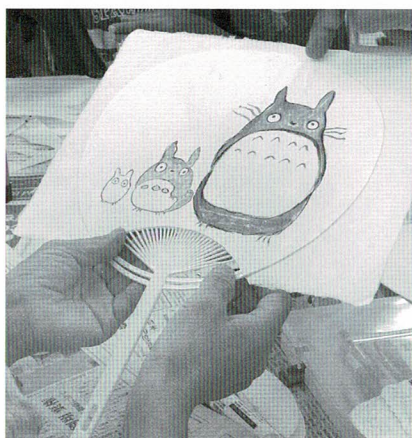
救命救急テーマに婦人防火クラブブリーダー研修会

七月十九日、古高松地区婦人防火クラブを対象にしたリーダー研修会が、古高松コミュニティセンターホールで開かれました。

新田、春日地区、さつきヶ丘、高松町の各婦人防火クラブのリーダーら約六十人が参加し、高松東消防署の筒井真救命係長らを講師に迎え、AED（自動体外式除細動器）を用いた救命処置や、三角巾による止血法などについて熱心に実技訓練を受けました。

思い思いに楽しい体験、夏休み子ども講座開催

夏休み中の子ども達にセンターを開放する講座が、七月末の「フェルトを使った小物作り」から始まり、八月末までに「習字教室」、「ガラス工芸体験（サンドブラスト）」、「折り紙建設」、「親子料理教室」、「環境教室」、「幼児親子体操教室」が開かれ、好評でした。環境教室では、うちわ作りに挑戦しました。



真剣にうちわ作り



AEDを用いた救命処置の研修風景

旧高松城まつり

古中運動場が会場に!

猛暑吹っ飛ばしフライバー!!

盛夏のふるさとを彩る平成二十年度古高松地区地域ふれあい交流事業の「旧(ふる)高松城まつり」は、七月二十七日(日)午後三時半から初めての会場となった古高松中学校運動場で開かれました。

第一回以来の菱の池公園(高松町)

からの変更で、北方の屋島をバックにメインステージが生まれ、東西に本部席やバザーコーナーなどのテント村が出現し、ゆったりとした雰囲気の中で祭りがオープンしました。

開祭式、恒例の祝い餅投げに続いてステージでは、コミュニティセンターの同好会メンバーの出演による舞踊、民謡、大正琴演奏や、

保育園児のかわいいエイサー太鼓、勇壮なふれあい太鼓、ジャズ演奏などが繰り広げられました。また、親子や仲良しでふるさと学習クイズに挑戦したり、カラオケのど自慢大会では自慢の歌声を競い、さかんな拍手を受けていました。

テント村では、各団体のバザーや露店が開店し、繰り出した浴衣がけの家族連れらで大賑わい。日中三十六度の猛暑を吹き飛ばすほどのフライバーぶりでした。

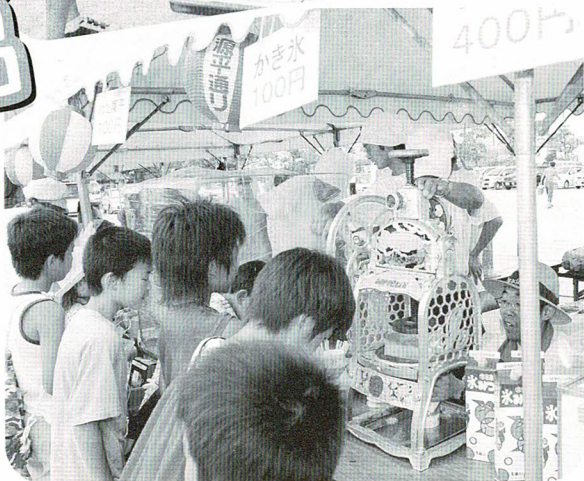
なお、祭りの最後を飾る打ち上げ花火は、打ち上げ場所に予定していた駐車場の安全確保から急遽、中止となりました。



熱演



鈴屋



主役



気楽に利用、健康増進・体力アップ



地元のフットサルチームなどがさっそく対戦

市民スポーツの新しい拠点



人工芝のゲートボール場でゲーム開始!!



アスレチック遊具が楽しめる児童用広場

東部運動公園まで歩こう 「レッツウォーキング講座」開講

古高松保健委員会との共催で11月13日午前9時30分：古高松センターを出発、地域ふれあいウォーキングルートに沿って歩き、東部運動公園で昼食、午後2時：出発地で解散。

■講師／十河節子さん ■募集人員／50名。

■費用／500円(弁当代) ※お申し込みはセンターまで

高松市が高松町で整備中の東部運動公園の一部が完成、七月十二日にオープンし、大西秀人市長、菰刈将鷹市議会議長ら関係者が出席して記念式典が行われました。

この日は、早速、地元のスポーツ少年団や老人クラブの人たちが、プレーを楽しみました。全面オープンは、平成二十五年の予定。今後、サッカー場、野球場、弓道・アーチェリー場、山道利用のウォーキングコースなどが整備され、市民の新しい健康増進、スポーツの拠点として活用が期待されています。

高松市東部運動公園部分オープン



関係者約30人が出席して記念式典



平行棒など健康用遊具で体力アップも!

●問い合わせ●

高松市公園緑地課東部事務所 (☎843-9446)

平成二十年度

文化祭ガイド

古高松
センター会場10月31日(金)
～11月2日(日)

作品展

(十月三十一日九時半～十七時、
十一月一日九時～十六時
・ホール、和室ほか)

アートフラワー、池坊華道、花道
嵯峨御流、生け花小原流、絵画、書
道永和、手編み手芸、はがき絵、俳
句五月会、俳句早蕨会のほか、コミ
セン講座、女性教室の作品を展示し
ます。

フリーマーケット

(十月三十一日十時～十五時
・屋外広場、雨天：図書スペース)

出展者を募集し、衣服、ギフト用
品、雑貨、手作り品などを販売しま
す。



自慢の力作の展示会場(昨年の資料から)

健康コーナー

(十月三十一日十時～十四時
・会議室ほか)

古高松地区保健委員会

- ①健康チェック&健康相談
「メタボチェックしませんか」
- ②健康に良いおやつを試食、展示
(ゴマクッキーと
キャラットジュース)

- ③赤ちゃん・幼児コーナー
- ④パネル展示

日赤奉仕団古高松分団

日頃の活動ぶりをパネル展示。

踊りと音楽公演

「よさこい演舞連「ほろろ」」

(十一月一日十一時～十二時
・屋外広場、雨天：図書スペース)

「楽しく・にぎやかに・元氣よく！」
をモットーに昨年九月に誕生したよ
さこい連。楽しく、華麗な舞にご期
待ください。

「ダッパースクセーバース演奏」

(十一月一日十五時～十五時半
・ホール東)

香川県内を中心に活躍するアマチュ
アのサクソフォンアンサンブルチー
ムによるミニコンサートです。

学習発表会

(十一月二日十時～十四時、ホール)

カラオケ、詩吟、太極拳、民謡、
大正琴琴城流、舞踊美咲会、新舞
踊美扇会、日舞浩路会、子どもバレ
エ、ソシアルダンス、生命の貯蓄体
操、ストレッチ体操など学習の成果
を発表します。

バザー

(十一月二日十時～十四時、調理室)

毎年恒例のバザーで、うどん(二
〇〇円)、おすし(二〇〇円)、う
どん・ちらしずしセット(三五〇円)、
ぜんざい(二五〇円)を用意します。
調理室で注文し、会議室、図書スペー
ス、屋外広場で食事できます。

前売りバザー券はコミュニティセ
ンターへ。当日売りも若干あります。

くつろぎコーナー

(十月三十一日と十一月一日十時～
十六時、図書スペース)

お茶のセルフサービスでおくつろ
ぎください。(雨天：中止)



舞台いっぱいに熱演(昨年の資料から)

プログラム多彩に楽しく…

古高松南 センター会場

10月24日(金)
～26日(日)

作品展

(十月二十四日九時～十七時、
十月二十五日九時～十五時
・ホール、和室、図書室ほか)

絵手紙教室、切り絵教室、書道教室、生け花教室、アートフラワー教室、パッチワーク教室、あそびの楽工、ガーデニング教室、女性教室、子ども体育、ヨーガ、らくらく3B体操。協賛として春日幼稚園、新田幼稚園、古高松南小学校の園児、児童の作品、菊作り、花作り有志の方々の作品を展示します。

お茶会 (茶道教室)

(十月二十四日十時～十二時
・和室)

春日幼稚園、新田幼稚園の園

児を招待しての茶道教室とお茶接待。

(十月二十五日十一時～十二時
・和室)

一般の方を対象とした茶道教室とお茶接待。百人分用意しております。



お点前の手ほどきを受ける園児ら(昨年の資料から)

絵は描きたいけれど、大きな画用紙にはちよつと思ふ人にも、手軽に取り組めるのが、はがきサイズではないでしょうか。旅先で簡単にスケッチできるのも、はがき絵ならではの魅力。旅の印象が倍増します。画題は風景、静物、動植物、人物、抽象等自由で、描きたいものを自分流に描き熱中している集団が、当同好会です。私達は、古高松コミュニティセンターで毎週木曜日、午後一時から三時まで、清水純一先生のマンツーマンの指導のもと、個性あふれる作品づくりに励んでいます。

同好会あれこれ

「古高松はがき絵同好会」

嶋 本 積 生

作品は会員同志で鑑賞し合い、楽しむほか、コミュニティセンターの文化祭や、高松市商店街での展覧会で、多くの人に楽しんでもらったり、遠くは群馬県の妙義山麓美術館主催「日本はがき芸術作家展」に応募し、自分の力量を試したりもしています。同好会は、毎回終始なごやかな雰囲気です。活動しています。絵やスケッチを手がけてみたいと思われる方は、一度会場をのぞいてみませんか。

学習発表会

(十月二十六日十時～
十四時三十分・ホール)

大正琴、尺八、子どもバレエ、3B体操、舞踊、カラオケ、など学習の成果を発表します。



参加者と一緒に3B体操(昨年の資料から)

パネル展

(十月二十四日九時～十七時、
十月二十五日九時～十五時
・一階通路)

協賛展として介護予防パネル、日赤奉仕団の活動報告パネルを展示します。

講演会

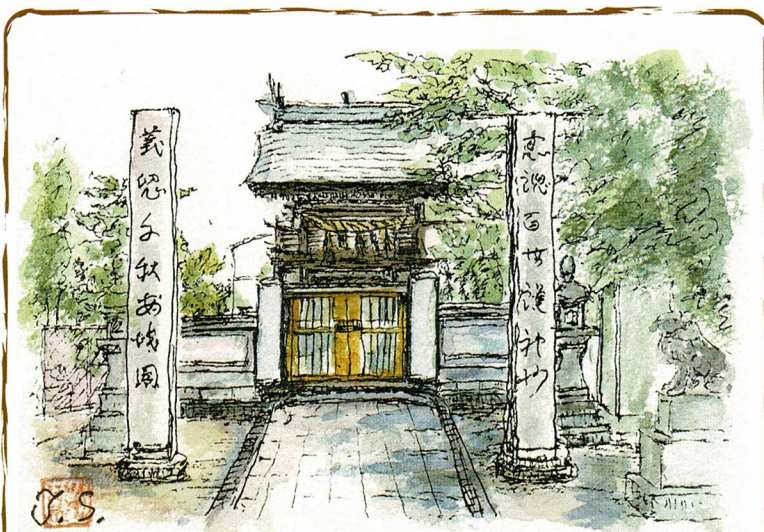
(十月二十五日十時～十一時
・和室)

理学療法士の寒川 多加生さんが「転倒予防について」のテーマで講演します。



地区ふれあい ウォークルートを設定

高松市と古高松地区コミュニティ協議会では、健康づくりと地域ふれあいを目的としたウォーキングを実施するため「古高松地区ふれあいウォークルート」を設定しています。古高松コミュニティセンターを出発点に、義経鞍掛の松・鞍掛地藏一忠魂社一喜岡寺一高松城跡一古高松三角点一菱の池公園一延命寺一木内龍山碑(古高松小学校庭)を巡る全長5キロのコース。それぞれの地点にルートの案内板を設置しています。



ふるさと点描

忠魂社 (高松町帰来)

JR屋島駅から少し北へ行った高松東消防署南隣りにあります。社は、大正十四年(一九二五)九月、戦前の在郷軍人会古高松分会の主唱によって建立された。西南の役以降の戦役に殉じた古高松地区出身者の英霊二百七十九柱が祀られています。社殿の建設に当たっては、分会員が勤労奉仕で新川堤防の補修工事などを請負って建設資金を調達したとのことです。

社のあるこの地は長塚といわれ、戦国時代の天正十三年(一五八五)、豊臣秀吉の四国征討軍を高松城(喜岡城)で迎え撃って討ち死にしました。城兵二百余人を葬ったといわれる史跡。境内には、寛延三年(一七五〇)に建立の供養塔もあります。また、昭和三十七年九月には、祖国に殉じた人たちの忠魂を後世に伝えようと、遺族会の呼びかけで顕彰碑と、日本遺族会十五周年記念で昭和天皇皇后から賜った色紙を拡大して円鏡形の石に刻んだ御製碑を境内に建立しています。

(絵・清水 純二)

編集後記

○活動や学習の成果を地域に発信する恒例の文化祭。今年は両センターの開催日程を一週間ずらして個別開催としたため、地域の方々の参加が容易になったのありがたい。多くの方々がお来場し交流、親睦をさらに深めて欲しい。そんな願いを込めガイドを特集しました。

○市民待望の高松市東部運動公園が、今夏、部分オープン。地域に実現した新しい市民スポーツの拠点施設だけに、おおいに活用したい。早速、「レッツツウオーキング講座」が開かれます。健康増進、体カアップに向けて積極参加を。(編)



夕ぐれコンサート

熱演に酔う

「夕ぐれコンサートINみなみ」

8月23日に恒例の「夕ぐれコンサートINみなみ」を古高松南センター2階ホールで開催しました。夏の夕ぐれ時にオカリナ合奏や歌う小説家『るいまま』の歌、フルートとバイオリンのアンサンブルのほか、南小学校の児童の皆さんの合唱を楽しみました。また『サン』の御協力を得てのパンの即売会も好評でした。当日は、朝、待ちに待った雨が降るなどで、ほんのすこしですが秋の気配も感じられる夕べとなりました。来年も予定しています、楽しみにしてください。

高松市と高松市文化芸術財団による平成二十年度テリバリアーツ落語公演が、九月十七日午後七時から古高松センターホールで開かれました。

この事業は、「出前公演」によって優れた芸術に生で触れ、楽しんでもらおうというもので、古高松地区では初めての試み。桂 米朝一門のベテラン桂 歌之助さんが来演し、「くしゃみ講釈」の一場を巧みな話芸とアクションで、一時間にわたって熱演、笑いを誘いました。会場には約二百十人が集まり大入りの盛況で、上方落語の真髄を満喫していました。

桂歌之助の落語を満喫
初の落語出前公演

地区避難施設に案内板

災害などの際の避難施設として古高松地区では、古高松コミュニティセンター、菱の池公園、古高松・古高松南小学校、古高松中学校の五か所が指定されています。各施設には、それぞれ案内板を設置し防災活動にも活かすことにしています。



熱演の桂 歌之助さん